



TOKYO  
SYMPHONY  
ORCHESTRA

# 2011年度(平成23年度) 年次報告書

(2011年4月1日~2012年3月31日)

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA  
Annual Report 2011-2012



公益財団法人 東京交響楽団

# Message

## ご挨拶



2012年9月から公益財団法人東京交響楽団の理事長に就任いたしました。今年で創立66周年を迎える東京交響楽団は歴史ある楽団であり、その運営に携わることは私にとっても新たな挑戦であります。まずは懸案である経営基盤の安定化をはかっていますが、それ以上に文化への貢献を果たしていきたいと考えております。私は、いろいろな文化の交流こそが平和的に世の中を進歩させる最大の原動力であると考えてきました。感受性に溢れる若い世代に、手軽で安価な海外文化体験を提供したいという気持ちから始めた旅行業もその考えに基づいたものでした。今はこの考えを当楽団の運営に生かして、例えば積極的な海外展開や他のエンターテインメントとの融合など、既存概念にとらわれない新しい形のコンサートをいろいろと提案していこうと思っています。もちろんやる以上は世界で勝負できるオーケストラを目指します。皆様どうぞ、ご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 東京交響楽団

理事長 澤 田 秀 雄

# Activity Report

## 2011年度活動概要

2011年3月の震災によるミュージアム・ザ川崎シンフォニーホールの天井崩落、それに伴う公演中止や会場変更を余儀なくされるなど、2011年度は創立65周年を迎えた当楽団にとっても波乱の幕開けとなりました。

しかしながら、巨匠ロリン・マゼール指揮の記念演奏会や、前年に続き2度目となる中国・大連夏季国際芸術祭参加などの記念事業は、皆様のあたたかいご支援を受け、予定通り行うことができました。

財政面では、公演中止や会場変更によるチケットのキャンセルや販売の伸び悩みにより大きな減収となりましたが、一方で被災地での演奏や、募金活動を目的とした室内楽のボランティアコンサートなど、公益財団法人の芸術文化団体として、社会貢献の使命を果たすための活動を見直す機会にもなった年でした。

### 定期演奏会

サントリーホールでの定期演奏会全11回、及び東京オペラシティシリーズ全6回は、原発問題の影響により来日アーティストの一部変更はあったものの予定通り開催し、川崎定期演奏会は会場をテアトロ・ジオーロ・ショウワに変更して全5回をおこないました。

サントリーホール定期演奏会では、<シェンベルク・プロジェクト>を実施し、中でも音楽監督ユベール・スダーン指揮のモドンラ「期待」や交響詩「ベレアスとメリザンド」は、巧みなプログラム構成が演奏とともに高く評価されました。常任指揮者 大友直人は、ブラームス/シェンベルク編ピアノ四重奏曲第1番など、また桂冠指揮者 秋山和慶はスクリャーピン「法悦の詩」他で充実した演奏を引き出し、新星クシユトフ・フルパンスキは、2度目の来日でショスタコーヴィチ交響曲第10番を指揮し、鮮烈な定期演奏会デビューを飾りました。初登場のジョナサン・ノットは、ラヴェル「ダフニスとクロエ」全曲で、世界で大成功を収めている実力を示しました。正指揮者 飯森範親指揮による「ローマ三部作」は、インターネット生配信を行い、新たな取り組みが反響を呼びました。

### 特別演奏会

震災後、一時はチケット販売が落ち込みましたが、年末年始恒例の「第九と四季」「ニューイヤークンサート」の頃には、活気を取り戻し、完全で公演を迎えることができました。「名曲全集」は親しみやすいプログラムを揃えましたが、会場変更が大きく集客減に影響しました。

### 青少年育成プログラム

前年度「ひまわり褒章」を受賞した、ズーラン・プラスとの共演による「0歳からのオーケストラ」は5年目を迎え、会場を川崎市教育文化会館に変更して開催し、本年も多くの新しいファミリー層の聴衆を開拓しました。

10年目を迎えた「こども定期演奏会」は、子どもとおとなと一緒に楽しめる定期演奏会として、併設企画の楽器体験やこどもレセプションなど、さらに充実した内容も好評を博しました。

青少年を定期演奏会へ招待し、終演後に楽屋へ指揮者を訪ねる「マエストロ・シート」も続けています。

### 依頼公演

当楽団では、年間100公演以上の依頼公演に出演して、国や地域、企業などの芸術文化活動に参加しています。1997年のオープニング以来、基幹オーケストラの一つとして演奏している新国立劇場では、オペラ3演目出演し、特に松村禎三オペラ「沈黙」では、「音楽の魅力を再認識させた」と高い評価を得ました。

フランチャイズ契約を結ぶ川崎市では、川崎市教育文化会館で行った約7300人の小学生への音楽鑑賞会、市内の小学校、老人ホーム、養護施設での室内楽の演奏などを行い、準フランチャイズ契約の新潟市では、りゅーとびコンサートホールでの6回の定期演奏会に加え、約8000人の小学生を対象とした音楽鑑賞会、学校訪問で音楽の授業を担当するなど、地域との結びつきも深めました。

# Fiscal Report

## 財産・運営状況について

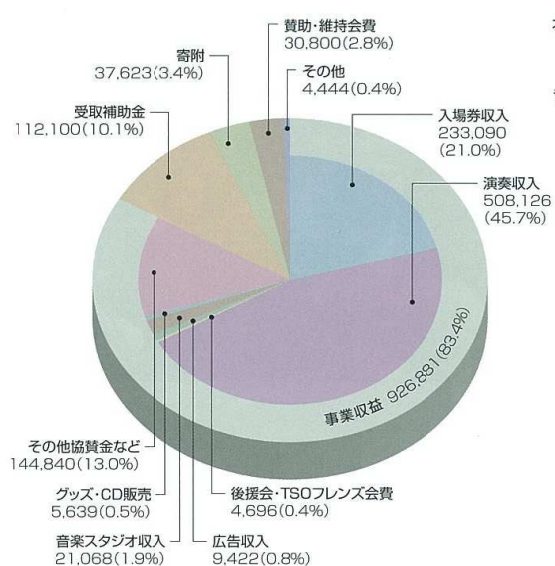
科 目	平成23年度	平成22年度	平成21年度
経 常 収 益 計	1,111,848	1,271,654	1,348,294
内・事業収益	926,881	1,113,508	1,146,564
内・受取補助金	112,100	107,084	149,280
内・寄附金(賛助・維持会費)	30,800	30,075	27,625
内・寄附金(一般)	37,623	15,075	18,589
経 常 費 用 計	1,142,977	1,285,056	1,298,292
当 期 経 常 増 減 額	△31,129	△13,402	50,002

平成22年度、平成23年度は震災の影響を受け、大きな赤字を生み出す結果となりました。経常収益の内、特に震災の影響が数字として表れているのは事業収益です。これは、当楽団が主催する演奏会の入場券収入や依頼された演奏会の演奏収入が主なものとなるものですが、ミュージアム・ザ川崎シンフォニーホールが使用できなくなったことによる、演奏会の中止や会場・日程変更に伴うチケットの払い戻しなどの影響や、震災に因る社会不安からの依頼演奏会の中止など大きく落ち込みました。しかし一方で、当団の被災状況に対して温かいご支援を、世界中の多くの皆様から頂きました。ご支援いただいた多くの皆様により感謝申し上げます。

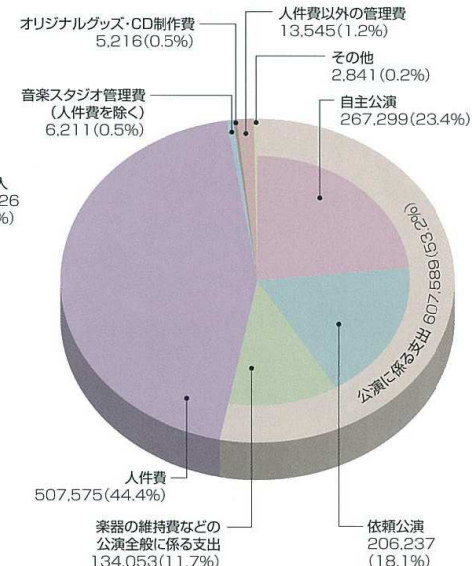
主催公演のサントリーホール定期演奏会と東京オペラシティシリーズは前年より入場者数が増えています。また、「第九と四季」および「ニューイヤークンサート」は例年と同様に満席となりました。

平成24年度も、平成23年度同様の厳しい状況が予想されますが、種々の工夫並びに努力を重ねて、収支の均衡を目指したいと考えております。平成24年度末までミュージアム・ザ川崎シンフォニーホールは使用できないため、主催や共催の公演を代替会場にて行わざるを得ず、会場変更に伴うリーダー離れが続き、特に川崎定期演奏会や名曲全集シリーズでたいへん苦戦しています。

### 収入 (H23年度) 1,111,848 (単位:千円)



### 支出 (H23年度) 1,142,977 (単位:千円)



# 演奏記録 Across the 2011/12 Season

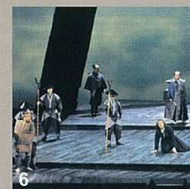
## ●自主公演(44回)

定期演奏会(第588回~第598回)	11回
川崎定期演奏会(第30回~第34回)	5回
東京オペラシティシリーズ(第60回~第65回)	6回
名曲全集(第66回~第75回)	10回
こども定期演奏会(第37回~第40回)	4回
特別演奏会	8回



## ●依頼公演(98回)

新潟定期演奏会(第65回~第70回)	6回
オペラ公演	15回
音楽鑑賞教室・青少年のためのプログラム	18回
その他	57回
協力公演	2回



## ●その他の事業(6回)

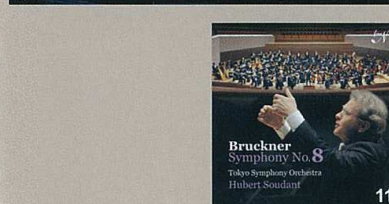
放送録画	3回
録音	3回



- キッズプログラム「0歳からのオーケストラ」川崎市教育文化会館 2011年5月
- 「音楽のまち・かわさき」マスコット「ミュートン」
- 「シェーンベルク・プロジェクト」〜モノオペラ「期待」サントリーホール 2011年11月
- ランチ&ナイトコンサート金管五重奏 2011年7月
- 新潟市内の5年生を対象とした音楽鑑賞教室 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 2011年11月
- 新国立劇場オペラ「沈黙」 2012年2月



- 創立65周年記念コンサート ロリン・マゼール指揮 2011年11月
- 2年連続の中国・大連公演 2011年7月
- 「こども定期演奏会」こども奏者とともに(写真提供:サントリーホール)
- 東住吉小学校での演奏(川崎市) 2012年1月
- N&Fレーベルからユベール・スターン指揮「ブルックナー交響曲第8番」をリリース。
- 東日本大震災・被災地支援コンサート 岩手県金石高等学校第1体育館 2012年3月



# Members

## サポート会員 (2012年9月4日現在)

### 賛助会員

#### 法人

アサヒビール株式会社	学校法人香蘭女学校	ヒノキ新薬株式会社
アムス・インターナショナル株式会社	サントリーホールディングス株式会社	株式会社文化放送開発センター
出光興産株式会社	お茶の水 下倉楽器	本田技研工業株式会社
有限会社伊藤ビル	すかいらーくグループ	株式会社みずほ銀行
SMBC日興証券株式会社	社会医療法人財団石心会	株式会社ヤナセ
株式会社NHKビジネススクリエイ	玉川学園・玉川大学	山崎製パン株式会社
財団法人青梅佐藤財団	株式会社ティワイリミテッド	ヤマザキ・ナビスコ株式会社
花王株式会社	テルモ株式会社	横浜自動車部品株式会社
株式会社カデンザ	テレビ埼玉ミュージック	YKK株式会社
川崎信用金庫	東海大学教養学部芸術学科音楽学課程	株式会社ライブ・マーケティング
きわむ元気塾	日興アセットマネジメント株式会社	リッチモンドアセットマネジメント株式会社
キリンホールディングス株式会社	株式会社野毛印刷社	
株式会社紅豆杉	ハウス食品株式会社	

#### 個人

阿久津政明	佐藤敏明	横川 寛
伊藤久美子	清水尚彦	横川 端
岡橋純男	ヨーコ・ナガエ・チェスキーナ	依田 巽
鷺海量明	遠山信之	渡邊秀男
桂木昌子	信川高寛	匿名3口

### 維持会員

阿久津喜代子	小山治彦	成田三千代
朝倉徳道	近藤和喜夫	成瀬倉祥
アーネスト・M・比嘉	斎藤脩司	株式会社日本ヴァイオリン
荒木陽子	酒蔵駒八 別館	原 義勝
飯塚十四正	佐久間啓一	株式会社ビーエーイー
池田和行	迫田清己	ブイ・エス・エルジャパン株式会社
磯村文靖	佐々木二三夫	マブチモーター株式会社
井之上隆太	佐々木 真	町田孝治税理士事務所
植野道雄	真田勝美	村本信幸
梅沢一彦	椎名武雄	村本京子
大河原毅	塩沢誠司	森田富士男
大河原愛子	株式会社シグマコミュニケーションズ	八鍬 昭
岡 邦子	清水幹雄	山口 学
岡橋 孜	鈴木成高	山田長満
岡野一哉	有限会社青史堂印刷	山本 工
鬼澤 修	高津麻子	遊園電子工房
梶井龍太郎	高島琢己	横川 端
片山泰輔	武田良夫	極上金かすたら横浜文明堂
金子 元	株式会社タツノヤ商会	米岡修一
草野真由美	寺尾嘉剛	吉田治喜
後藤直人	東京IK倶楽部	吉村美恵子
小林 光	戸川二郎	和田建築株式会社
駒崎慶夫	流山なかよし保育園	匿名8名

# Tokyo Symphony Orchestra

## 公益財団法人 東京交響楽団

■音楽監督.....ユベール・スダーン	■ソロ・コンサートマスター.....大谷康子
■桂冠指揮者.....秋山和慶	■第1コンサートマスター.....クレバ・ニキティン
■常任指揮者.....大友直人	■コンサートマスター.....高木和弘
■正指揮者.....飯森親範	■アシスタント・コンサートマスター.....田尻 順/廣岡克隆
■首席客演指揮者.....ニコラ・ルイゾッティ	
■永久名誉指揮者.....アルヴォ・ヤンソンス/上田仁/遠山信二	

<b>会 長</b> 横川 端 <b>理事長</b> 澤田 秀雄 <b>副理事長</b> 依田 巽 <b>専務理事</b> 大野 順二 <b>業務執行理事</b> 中塚 博則 <b>理 事</b> 阿部 武彦 池辺晋一郎 伊藤 美樹 庄司 薫 南部 靖之 西室 泰三 平澤 創 福川 伸次 渡邊 秀男 <b>常任監事</b> 田村慎太郎 <b>監 事</b> 寺西 基之 <b>評議員長</b> 金山 茂人 <b>評議員</b> 安達 寛高 梅沢 一彦 鷺海 量明	鬼澤 修 高橋 達彦 田村 勝弘 西村 朗 星 久人 松本 康夫 山下 芳彦 横川 寛 <b>特別顧問</b> 阿部 孝夫 飯島 延浩 中塚 長満 <b>顧問</b> 若本 良彦 田村 勝弘 田村慎太郎 <b>会計監査人</b> 松本 傳 (公認会計士)	<b>1st Violins</b> ○木村 正貴 ○小林 亮子 ○堀内 幸子 大和田ルース 小川 敦子 加藤 幸子 小関 郁 立岡百合恵 福留 史紘 宮本 睦 吉川 万理 <b>2nd Violins</b> ○坂井みどり ○清水 泰明 ○服部亜矢子 ○加藤 まな ○宮原 祐子 阿部 真弓 板垣 琢哉 上原 末莉 小川さえ子 塩谷しずか 竹田 詩織 野村 真澄 日野 奏 渡辺 裕子 <b>Violas</b> ○青木 篤子 ○武生 直子 ○西村 真紀 ○山廣 みほ	安藤 史子 加藤谷直美 小西 応典 鈴木まり奈 永井 聖乃 松崎 里絵 森 みさ子 <b>Cellos</b> ○伊藤 文嗣 ○西谷 牧人 ○川井真由美 ○黄原 亮司 ○謝名元 民 北村 準 馬場 隆弘 樋口 泰世 <b>Double Basses</b> ○笠原 勝二 ○加藤 信吾 ○渡辺 哲郎 ○久松 ちず 北村 一平 小林 照雄 安田 修平 <b>Flutes</b> ○相澤 政宏 ○甲藤 さち <b>Flutes &amp; Piccolos</b> 高野 成之 中川 愛	<b>Oboes</b> ○荒 絵理子 ○池田 肇 最上 峰行 <b>Oboe &amp; English horn</b> 篠崎 隆 <b>Clarinets</b> ○エマニエル・ヌグー ○吉野亜希菜 小林 利彰 近藤千花子 <b>Bassoons</b> ○福井 蔵 ○福士マリ子 大塚 展男 坂井 由佳 <b>Horns</b> ○上間 善之 ○大野 雄太 ○ジョナサン・ハミル 甲田 幹雄 大和田浩明 阪本 正彦 曾根 敦子 <b>Trumpets</b> ○佐藤 友紀 ○澤田 真人 大隅 雅人	野沢 岳史 <b>Trombones</b> ○大馬 直人 ○荻野 昇 ○鳥塚 心輔 宮本 直樹 <b>Tuba</b> ○渡辺 功 <b>Timpani &amp; Percussions</b> ○奥田 昌史 ○新澤 義美 天野 佳和 武山 芳史 <b>Chief Librarian</b> 武田 英昭 <b>Librarian</b> 前田健一郎 <b>Chief Stage Manager</b> 今村 和弘 <b>Stage Manager</b> 山本 聡 <b>荣誉団員</b> 鷹栖 光昭 <b>首席奏者</b> ○フォアシューパー	<b>楽団長</b> 大野 順二 <b>編成局長・パーソネル・マネージャー</b> 藤原 真 <b>楽団委員</b> 相澤 政宏 池田 肇 大隅 雅人 清水 泰明 馬場 隆弘 福留 史紘 <b>事務室長</b> 中塚 博則 <b>事務局</b> 池田瀬津子 梶川 純子 菊澤 布美 櫻井 保夫 佐藤 雄己 高瀬 緑 辻 敏 豊山 信 美濃部 敦 山田 道子 渡辺 美江 <b>クラシックスペース★100</b> 西脇 秀治 吉田 典正 <b>名誉団友</b> 深江 泰輔 三木 晴雄
---	---	--	---	--	--	---

# Biography



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA  
東京交響楽団

1946年創立。音楽監督にユベール・スダーン、桂冠指揮者に秋山和慶、常任指揮者に大友直人、正指揮者に飯森親範、首席客演指揮者にニコラ・ルイゾッティを擁する。サントリーホール定期演奏会、川崎定期演奏会、東京オペラシティシリーズを主催するほか、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、音楽之友社賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞などを受賞。2012年度より設けられた文化庁「トップレベルの舞台芸術創造事業<年間支援>」初年度の4つのオーケストラに選定されている。川崎市のフランチャイズ、新潟市の準フランチャイズ・オーケストラとして地域での活動にも力をいれている。教育面でも「こども定期演奏会(サントリーホールとの共催)」[0歳からのオーケストラ]を行い注目を集めている。海外公演も数多く行っており、これまでに53都市71公演を行っている。http://tso.jp



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

---

## ～皆様からのご支援 お待ちしております～

---

東京交響楽団の活動は、個人・法人の皆様から寄せられるあたたかいご寄付と共に成り立っています。財政状況や定款、税制上の優遇措置についてはウェブ上でもご覧いただけます。

ご質問等ございましたら東京交響楽団川崎オフィス支援開拓本部までお問い合わせください。

### ■東京交響楽団サポートシステム

賛助会 ..... 一口 500,000円 / 1年  
維持会 ..... 一口 100,000円 / 1年

TSOフレンズ ..... 一口 12,000円 / 1年  
東京交響楽団のファンクラブとして、サポーターズイベントにもご招待!

後援会 ..... 一口 5,000円 / 1年  
特典を使って気軽にお得な文化支援

## 公益財団法人 東京交響楽団

Tel:044-520-1518 <http://tso.jp>

本部 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5

川崎オフィス 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階